

# 苦小牧のコケ観察 (蘚苔類)

## その1 緑ヶ丘公園のコケ



※判定基準： 難しい1 ←→ 5 優しい 目安： 難しい△ 割と優しい○ 優しい◎



### 16. クサゴケ (ハイゴケ科)

倒木 (1 △)

(特徴) 見分けが難しいコケ。倒木に明るい緑色の群落をつくる。長く赤褐色の長い蒴柄を多数出す。



### 17. ヒナイトゴケ (スズゴケ科)

樹上 (2 △)

(特徴) 樹上でスズゴケと同じ場所で見られる。スズゴケより枝が細かい感じで、枝分かれも多い。



### 18. エゾヒラゴケ (ヒラゴケ科)

樹上 (2 △)

(特徴) スズゴケと同じように樹幹から上に反り、枝を広げる。葉をよく観察すると、葉の中央部に凹みが見られ平べったく見える。一見、凹みはシワのようにも見える。



### 19. コウヤノマンネングサ

(コウヤノマンネングサ科)

地上 (2 △)

(特徴) 細い茎で立ち上がり、上部で枝分かれして葉を出す。一見、椰子の木のように。似たものでフロウソウがあるが、茎の根元を見て2本に分かれていれば前者である。



## 20. コスギゴケ (スギゴケ科)

地上 (4 ◎)

(特徴) 茎が短く、茎の上に葉をまとめて付ける。葉は細く尖る。蒴 (サク: 胞子が入っているところ) は白い綿毛に覆われている (スギゴケの仲間の特徴)



## 21. イワイトゴケ (キヌイトゴケ科)

樹上 (3 △)

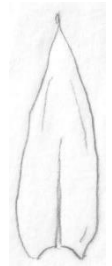
(特徴) 樹上に細い茎が絡み合うように這う。細い先が綿棒のように丸く見える。



## 22. スズゴケ (スズゴケ科)

樹上 (2 △)

(特徴) エゾヒラゴケ・ヒナイトゴケと一緒に樹幹に張り付き上に反り、枝を広げる。枝の太さは中間ぐらい。



## 23. オオクラマゴケモドキ (クラマゴケモドキ科)

樹上 (3 ○)

(特徴) 一見、鎧兜 (よろい) を着たようなコケ。鈍い光沢がある。不規則に枝分かれする。



24. カラフトキンモウゴケ (タチヒダゴケ科)

樹上 (3 ○)

(特徴) 樹幹の中間に小さくこんもりとした丸い集合体を作る。葉の横から顔を出す蒴をルーペで観察すると周りに細かい毛が見られる。



25. カラヤスダゴケ (ヤスデゴケ科)

樹上 (4 ◎)

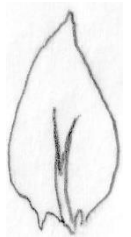
(特徴) 大体が茶褐色で樹皮上で枝を広げるように這う。



26. ミヤマサナダゴケ (サナダゴケ科)

地上 (3 △)

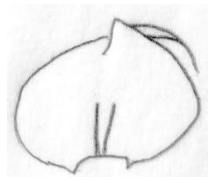
(特徴) 真田紐のように葉が交互に重なり合う。小さいが群落をつくる。



27. コフサゴケ (イワダレゴケ科)

地上 (2 △)

(特徴) 茎は赤褐色で1次の茎は地を不規則に枝分かれし這い、2次は立ち上がる。茎葉を観察すると中央部は太く、先になって急に細くなり尖る。





## 28. イタチゴケ (イタチゴケ科)

樹上 (4 ◎)

(特徴) 樹上から1本ずつ上に反って曲がり、先がイタチのしっぽのように見える。葉には縦ヒダが有る



## 29. チャボスズゴケ (シノブゴケ科)

樹上・倒木 (2 △)

(特徴) 樹幹の縦より横ラインで群生。倒木にも見られる。茎に付く細い枝は先に向かって短くなり、全体で細い三角形にV字に見えることも。明るい緑と茶の枝も見られる。



## 30. カモジゴケ (シッポゴケ科)

地上 (2 △)

(特徴) オオシッポゴケやシッポゴケに似るので判別は付きにくい。茎に付く仮根は茶色。オオシッポゴケも仮根は茶色だが、カモジゴケは葉先が細く長く尖るので見分けが付く。葉の上部は溝状になっている。乾くと両方に鎌形に曲がる。葉の上半部に縁に明瞭な歯がある。

